

「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プラン の推進状況について（令和4年中）

1 要旨・目的

「減らそう犯罪」第5期ひろしまアクション・プランの推進状況（令和4年中）について報告するもの

2 現状・背景

【第5期アクション・プラン（令和3年～令和7年）の運動目標及び重点項目】

○ 運動目標

住む人 来る人 誰もが日本一の安全安心を実感できる広島県の実現

○ 重点項目

- ・ 不安に感じる犯罪の抑止
- ・ 子供・女性・高齢者等の安全確保
- ・ 特殊詐欺被害の抑止
- ・ インターネット利用犯罪被害の防止

3 概要

(1) 調査対象

—

(2) 調査期間

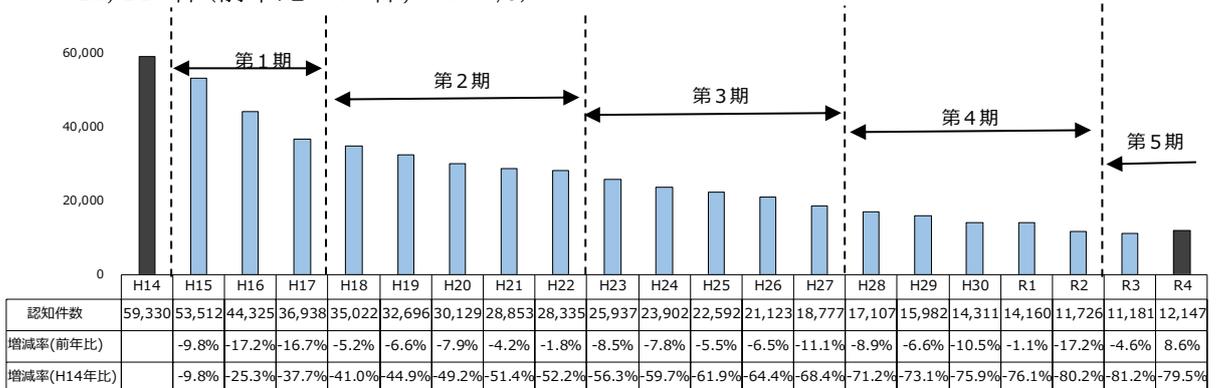
令和4年1月～12月

(3) 調査結果

ア 運動目標の推進指標

(ア) 刑法犯認知件数【指標：12,000件以下】

12,147件(前年比+966件, +8.6%)



減少犯罪 ①万引き(-158件)②車上ねらい(-50件)③住居侵入(-37件)

増加犯罪 ①自転車盗(+565件)②詐欺(+118件)③器物損壊等(+100件)

(イ) 治安良好と感じる人の割合【指標：90%以上】

	H29	R2	前回比
治安良好と感じる人の割合	85.3%	86.9%	+1.6ポイント

イ 重点項目の取組指標(R4:暫定値)

(ア) 不安を感じる犯罪(8罪種)の認知件数【指標:5,500件以下】

	H30	R1	R2	R3	R4
認知件数	6,681件	6,619件	5,260件	4,662件	5,284件
増減率(前年比)	-13.5%	-0.9%	-20.5%	-11.4%	13.3%

※不安を感じる犯罪～自転車盗, 車上ねらい, 器物損壊等, 侵入強盗, 侵入窃盗, 住居侵入, 強姦性交等, 強制わいせつの8罪種

○ 自転車盗(+565件), 器物損壊等(+100件)が大きく増加

(イ) 子供・女性・高齢者が被害となる犯罪の認知件数【指標:4,800件以下】

	H30	R1	R2	R3	R4
認知件数	5,835件	5,755件	4,584件	4,337件	5,069件
増減率(前年比)	-10.7%	-1.4%	-20.3%	-5.4%	16.9%

○ 子供(+407), 女性(+233), 高齢者(+92)とも被害が増加

(ウ) 特殊詐欺の年間被害総額【指標:2億円以下】

a 特殊詐欺の被害状況

	H30	R1	R2	R3	R4
認知件数	183件	175件	136件	202件	234件(前年比+15.8%)
被害総額	約3億6,511万円	約3億2,180万円	約2億4,105万円	約4億7,276万円	約6億8,446万円(前年比+44.8%)

※被害額の多い上位3手口

- ①架空料金請求詐欺(98件 約4億4,299万円), ②オレオレ詐欺(26件 約9,435万円), ③預貯金詐欺(50件 約7,444万円)

b 特殊詐欺の水際阻止状況

	H30	R1	R2	R3	R4
阻止件数	235件	169件	209件	506件	566件(前年比+11.9%)
阻止額	約1億6,170万円	約9,767万円	約8,834万円	約1億7,255万円	約1億4,152万円(前年比-18.0%)

(エ) フィルタリング(スマートフォン)の使用率【指標:37%以上】

令和4年度 30.2%

※当県における「子ども・若者育成支援推進法に基づく対応方針」で定めている指標を引用

(4) 今後の対応

【令和5年における基本的な取組方向】

ア 特殊詐欺被害の抑止

○ 多様な主体による特殊詐欺被害の抑止対策の推進

イ 子供・女性・高齢者等の安全確保

○ 事業者による「ながら見守り」の推進など防犯CSR活動の促進

○ 地域ぐるみで子供・女性・高齢者等を犯罪から守る環境の構築と取組の強化

ウ 不安を感じる犯罪の抑止

○ 自転車盗などの不安を感じる犯罪に関する効果的な情報発信

○ ガイドラインに基づく防犯カメラの設置促進

エ インターネット利用犯罪被害の防止

○ サイバー犯罪への抵抗力の強化

○ スマートフォン等のフィルタリングの利用促進